

朝日新聞の姉妹紙

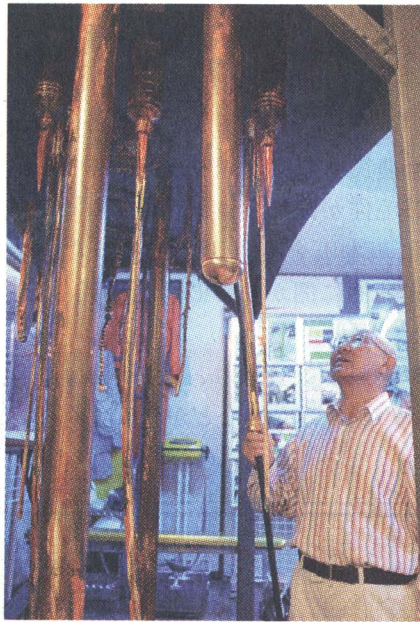


©朝日学生新聞社 2007
大阪支社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4
電話(06)6202-3893 (販売)
6202-3200 (広告)
6202-4661 (編集)
記事についてのお問い合わせ
電話(03)3545-5222 (編集)

洞窟の不思議を知ってね

四十年にわたって世界の洞窟を研究し

大阪・大学教授が自宅に手づくりハウス 約400枚の写真や模型などで紹介



ペットボトルなどを使った洞窟内の手づくり模型。上からつらら石が下がっています＝どちらも大阪市西淀川区で

てきた大阪経済法科大学の沢勲教授が、写真や模型などを使って洞窟を紹介する施設「洞窟ハウス」を大阪市西淀川区の自宅の一部に完成させました。沢先生の専門は情報科学ですが、子どものころから洞窟に関心を持ち、大学で洞窟にたくさんする講義も受け持ち、本も出しています。洞窟とは、人間が入ることができる穴のこと。火山の噴火でできた火山・溶岩洞窟、石灰岩が雨水



約四百枚の洞窟の写真が集められています

や地下水でとけてできる石灰岩洞窟などがあります。子どもたちにも洞窟を少しでも身近に感じてもらうと、手づくりの洞窟ハウスを計画、三か月ほどかけて仕上げました。足をふみ入れる

と、韓国や中国、アメリカなど七か国で撮影した約四百枚の洞窟の写真や、さまざまな形の溶岩のかたまりが目飛びこえます。

奥に進むと、洞窟の天井にできる鍾乳石を、ホースやペットボトルなど身近な材料で再現した模型があります。

沢先生は「生活の場にもなるなど、洞窟は昔から人間と深いかわりのある場所でした。洞窟の不思議にふれてもらいたい」と話しています。

ファクス(06・6471・6686)

でも申しこめば無料で見学できます。沢先生のウェブサイトを(www.sawai.sao.com/)でも洞窟について紹介しています。

(清田 哲)